

漢字かな交じり文を書く(2)

締切り 二月二十二日（必着）

◎書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり文」の三つがあります。

◎「漢字かな交じり文」は、実用書としてはあたり前のことですが、芸術書としては比較的新しい分野で、近代詩文書とか調和体と呼ばれています。団体によつては、新和様とか新書芸という呼称もあります。

てはいってよ
またわざってよ
かくよ
まいたわざってよ
よひよ

やつぱり
かいいのだ
こころよ
ては行つてよ
よひよ

※落款（氏名）も作品の一部として、作品の最後に書き入れて下さい。
〔出典〕八木重吉詩「心よ」

□作品の出し方

▼硬筆部＝B5判（二五七mm×一八二mm）以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。（黒色に限る）
▼毛筆部＝半紙に書いて下さい。筆ペンも可です。
▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績（毛筆の場合毛筆漢字の成績）を、作

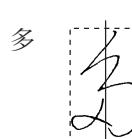
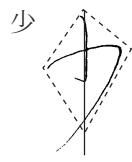
一般部規定課題

締切り 2月22日(必着)

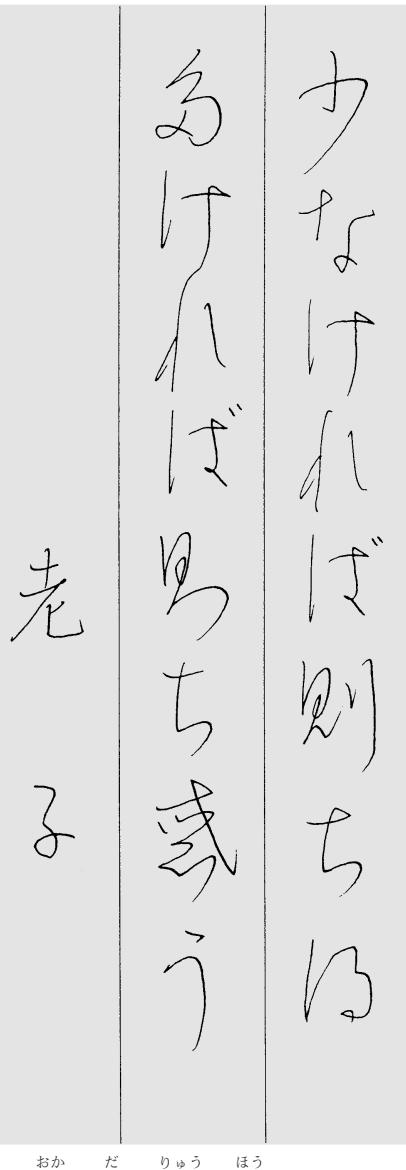
準初段から六段まで

新入から1級まで

[解説]



▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。
形態のリズムと変化に富んだ芸術性の表現が大切



おか だりゅう ほう 岡田龍芳書

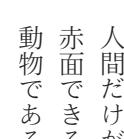
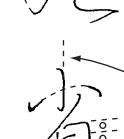
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

[解説]

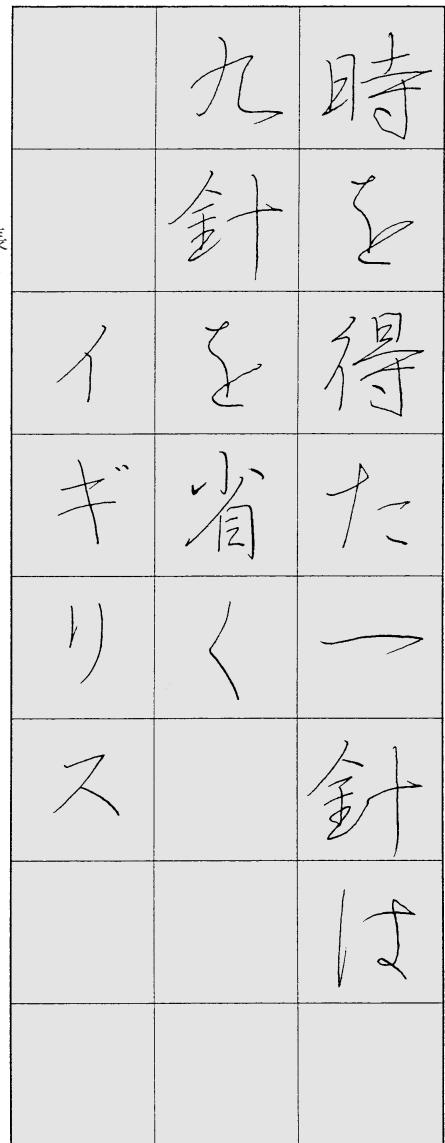


同字変化をつけ



◆3月課題予告 (楷書)

人間だけが
赤面できる
動物である



おお たに せい じょう 大谷清城書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

★時を: (書体=行書)
イギリスのことわざ
衣服が破れた時、すぐつくろえればわ
ずかな手間でみますが、放つておけ
ば破れがどんどん大きくなつて、大が
かりな手直しが必要となつてしまいま
す。何か問題が起きたら、軽くみたり、
後回しにしたりせずに、すぐ対策を講
じることが賢明であることを教えてい
ます。

◆3月課題予告 (楷書)
『老子』の中にある、心の持ち様を
述べた言葉です。学問をして知識が多
くなれば迷うこともあります。テ
レビやインターネットであらゆる情報
が氾濫し、選択肢が増える現代、何を
信じ何を選ぶべきか、心は惑うばかり
です。

★少な: (書体=行草または草書)
中国、戦国時代の思想書『老子』
より

『老子』の中にある、心の持ち様を
述べた言葉です。学問をして知識が多
くなれば迷うこともあります。テ
レビやインターネットであらゆる情報
が氾濫し、選択肢が増える現代、何を
信じ何を選ぶべきか、心は惑うばかり
です。

◆3月課題予告 (行書)
汝の隣人を愛せよ
されど垣根を
取り除くなれ
教範・書範=楷書

▼師範=行草または草書

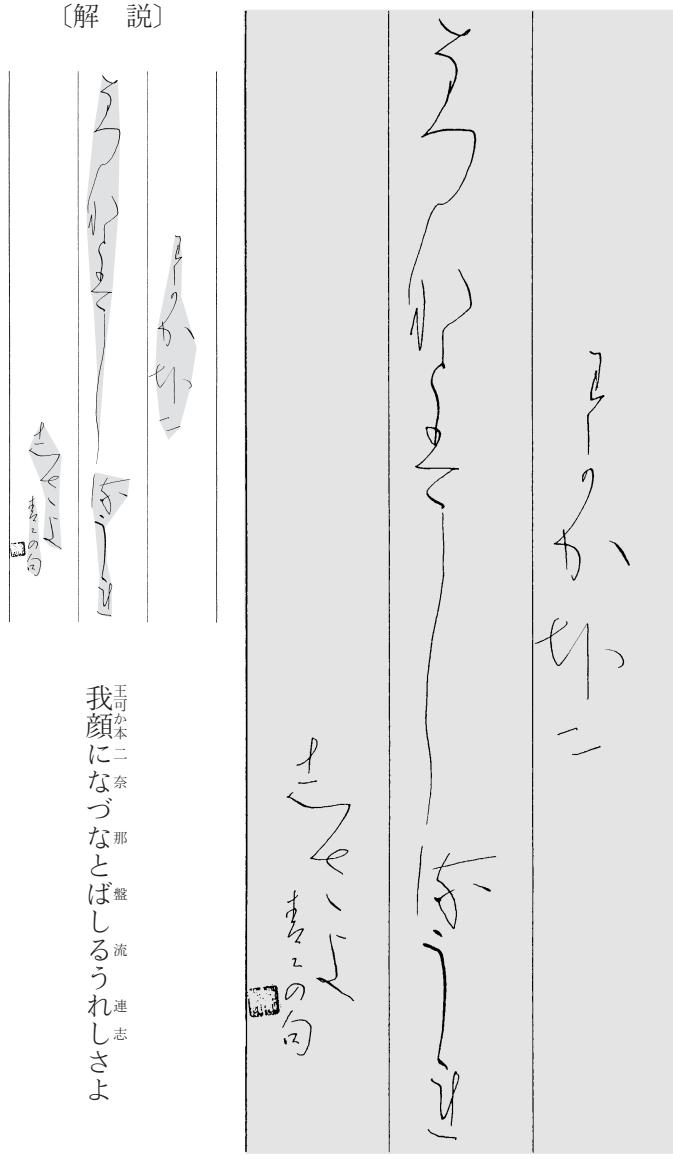
一般部かな課題

締切り 2月22日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

[解説]



我顔になづなとばしるうれしさよ
王司か本二奈那盤流連志

荻 田 蒼 仙 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

[解説]

か		
れ		
と		
こ		
は		
る		

我顔になづなとばしるうれしさよ
王司か本二奈那盤流連志

荻 田 蒼 仙 書

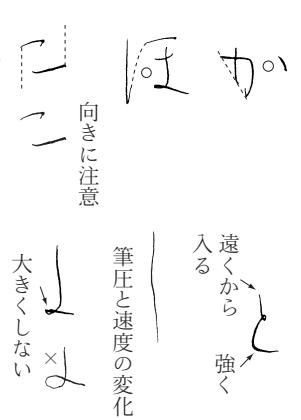
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆ 3月課題予告
鶯の肝つぶしたる寒さかな

(支考)

【段位ワン・ヒント】
私の場合、歌を決めて先ず全てをかで書きます。それから漢字や変体がなを使って景色づくりを試みます。今まで記した法則を基にして、多くのスタイルを使って比較検討をします。行き詰ると古典や図録の先輩の手法からヒントをさがします。もつともらしい手本を書いていますが、よくないなあと思っているのが本音です。他の誌についても勉強しなければいけない責任を感じています。



【句意】正月に蕷粥を食べます。(松瀬青々)板で大きくとんとんと蕷をたたくと、顔に飛び散ってくるのです。明るい正月の快活さに満ちた句です。
【級位ワン・ヒント】かな文字の終筆は原則として止めるのではなく軽く抜いてください。点は入った方向に戻します。同一字形同一運動のチェック。二度目の「し」は四を使いました。「耳」も伸ばすために長さを変えています。それぞれの文字は同じ大きさにならないようにして下さい。
【解説】この説明文は、筆者自身の経験と教訓に基づいたもので、書道における技術的アドバイスや心構えを含んでいます。特に、筆の運びや力の出し方、方向性など、具体的な書寫技術について述べられています。

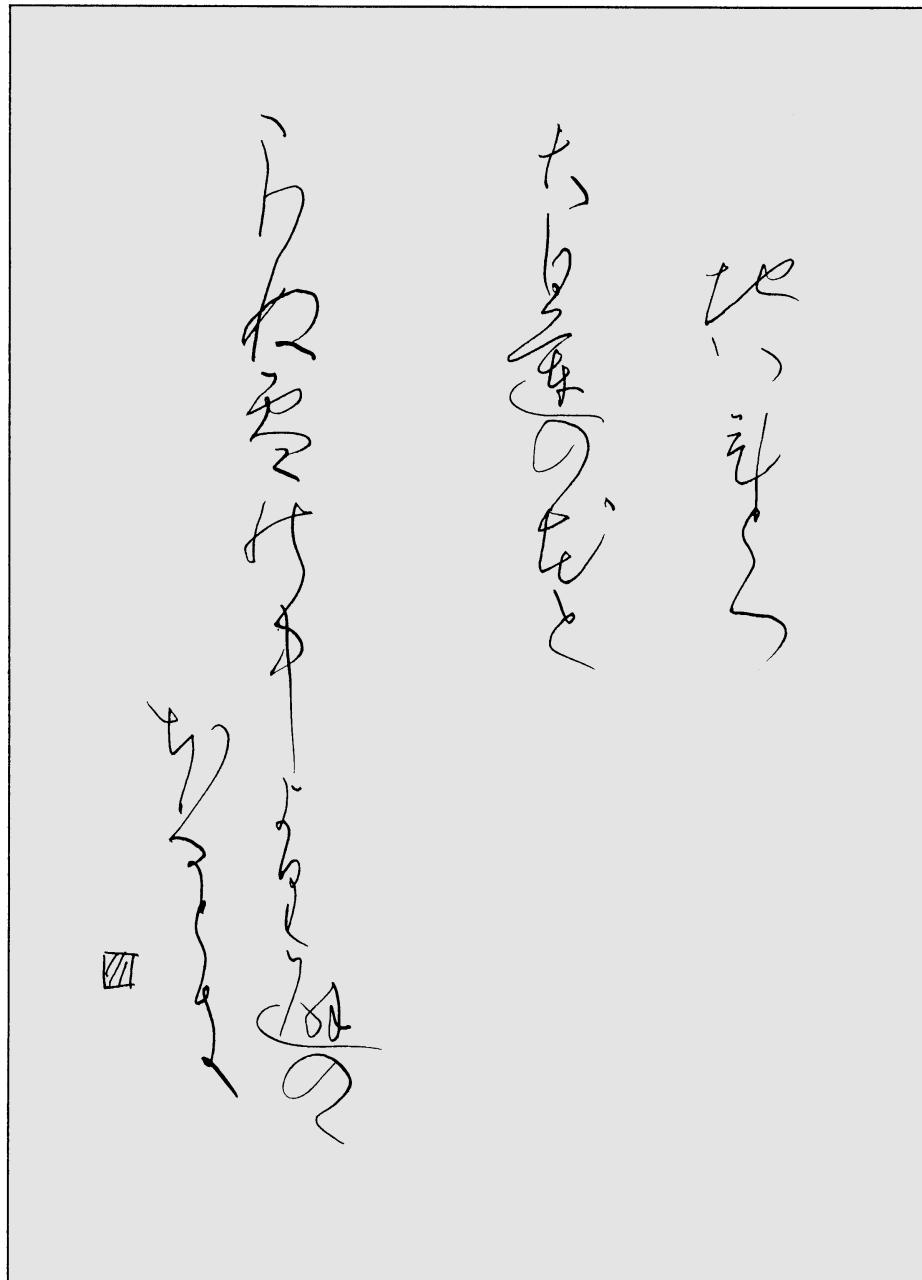
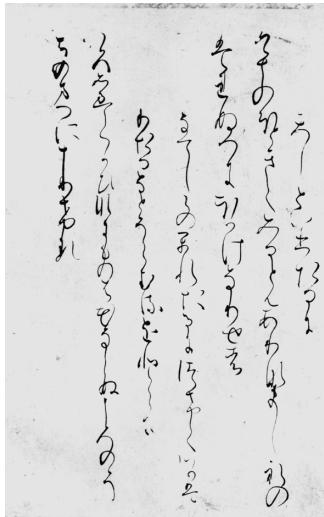
一般部かな課題

師範・教範・書範

締切り
二月二十二日（必着）

〔古筆參考〕

和泉式部続集切



築瀬舟香書
やせしゅこうしょ

地はひとつ大白蓮の花と見ぬ雪の中
より里避のぼる時

〔歌意〕あたり一面雪に閉ざされた大
地に太陽が昇る時、あたかも一つの大
きな白蓮の花のように見えます。

〔出典〕名歌即訳 与謝野晶子

〔解説〕

- 解説

 - ①と○、①と△、①と□、
①と△、それぞれ呼応。
 - 一行の中の密の部分。密の動き
に注意。

「和泉式部集切」とは(一)

「日本書道辞典」（小松茂美編）によれば、現存する「和泉式部集」は正集、続集、宸翰本、松井本、雑種本、の五種類が知られている、と書かれています。私が好きなのは「続集切」です。筆者は藤原行成と伝えられていますが、確証はありません。

◆3月課題予告

うたたねの夢路に人の逢ひにこ
れんほ
蓮歩のあとを思ふ雨かな

(与謝野晶子)

締切り 2月22日(必着)

夫の定年に合わせて信州の高原に
空き家を借りて引っ越しました。
慣れなない土地で少しうまく、不安ですが、
今は夜毎満天の星空を眺めながら
二人で熱燗一杯という、とっても
幸せな時間を過ごしています。

- 両課題とも、書体変換は自由です。
- (黒色に限る)

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書でき
ます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙ははがき課題ははがき用紙、横書き
課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具ははがき、横書き課題とともに自由。

◎手本は水性ボールペン使用

夫の定年に合わせて信州の高原に
空き家を借りて引っ越しました。
慣れなない土地で少しうまく、不安ですが、
今は夜毎満天の星空を眺めながら
二人で熱燗一杯といふ、とても
幸せな時間を過ごします。

横書き課題

岡 嶋 桂 川 書

ハイブリッドエンジンの自動車は、

改良を重ねて近年実用化された。

和歌山県有田市 氏

名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 2月22日（必着）



八
水
味
道
餐
風
浪
風
道
水
味

準初段から師範まで

澤
静
雨
書
入
散
香
梅
風

奥
村
暢
之
臨

〔出典〕集字聖教序（672） 〔筆者〕王羲之法書より集字
〔読み〕八水に、道を味い風を餐い、

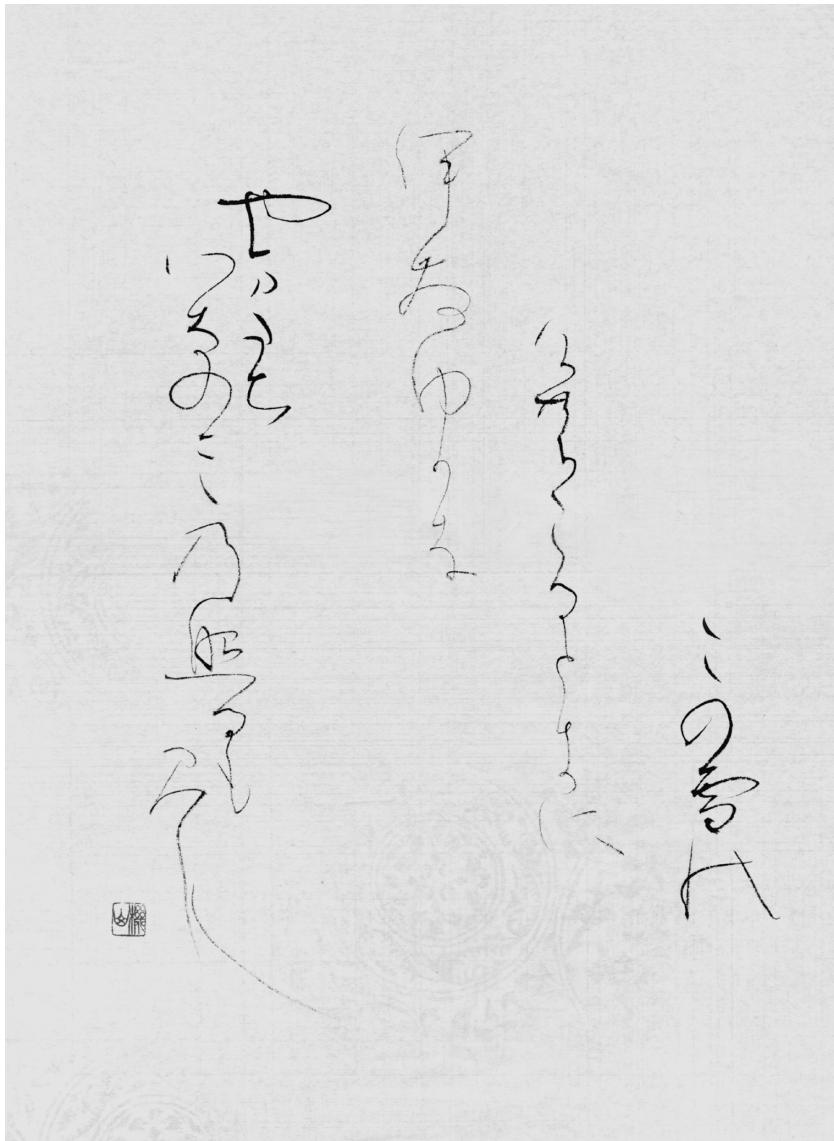
〔読み〕梅散りて風香入る。
〔大意〕梅が散ると、花の香を帶びた風が入ってくる。

新入から1級まで（行書）

一般部毛筆かな課題

締切り 2月22日（必着）

この雪の消のかる時にいざ行かな
能介農^{トガ}乃伊^イ散^サゆ可奈^{カナ}
や万多ち八奈^{ハナ}

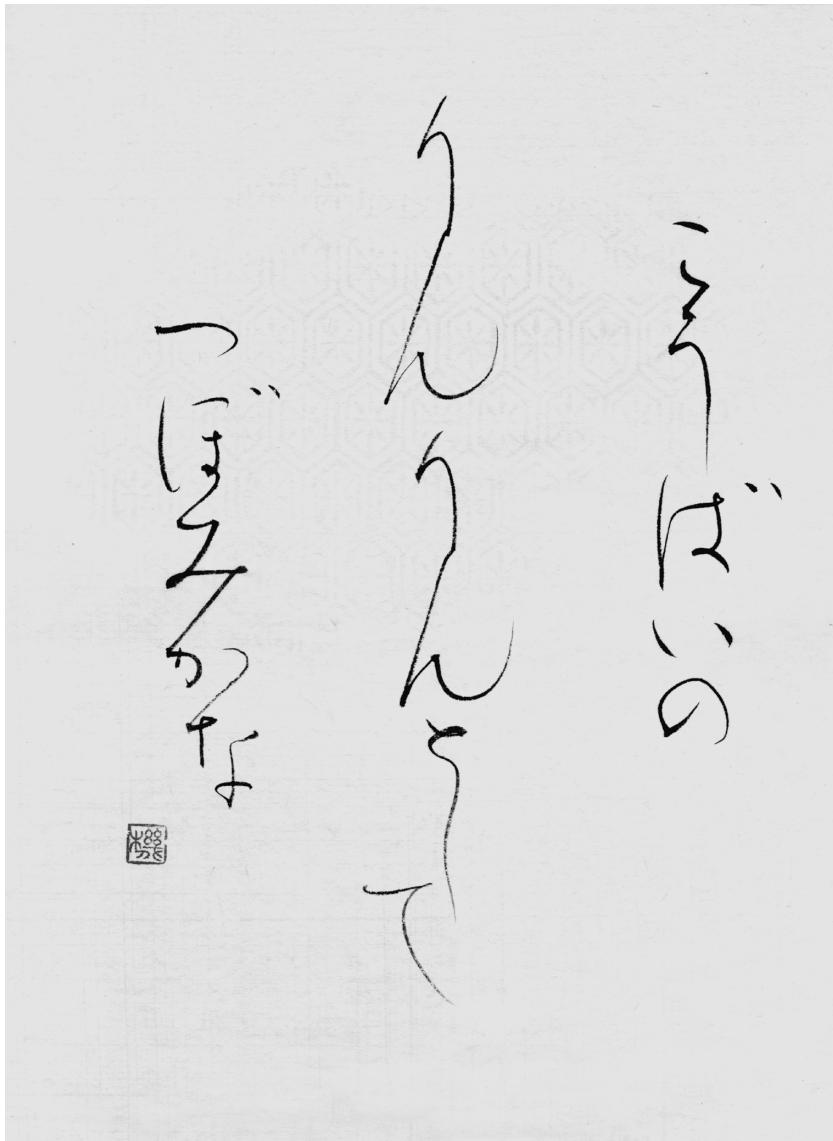


[出典] 万葉集 大伴家持

〔歌意〕この雪がまだ消え残っている間に、さあ行こう。山橘の実が赤くみずみずしく照っているのも見よう。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



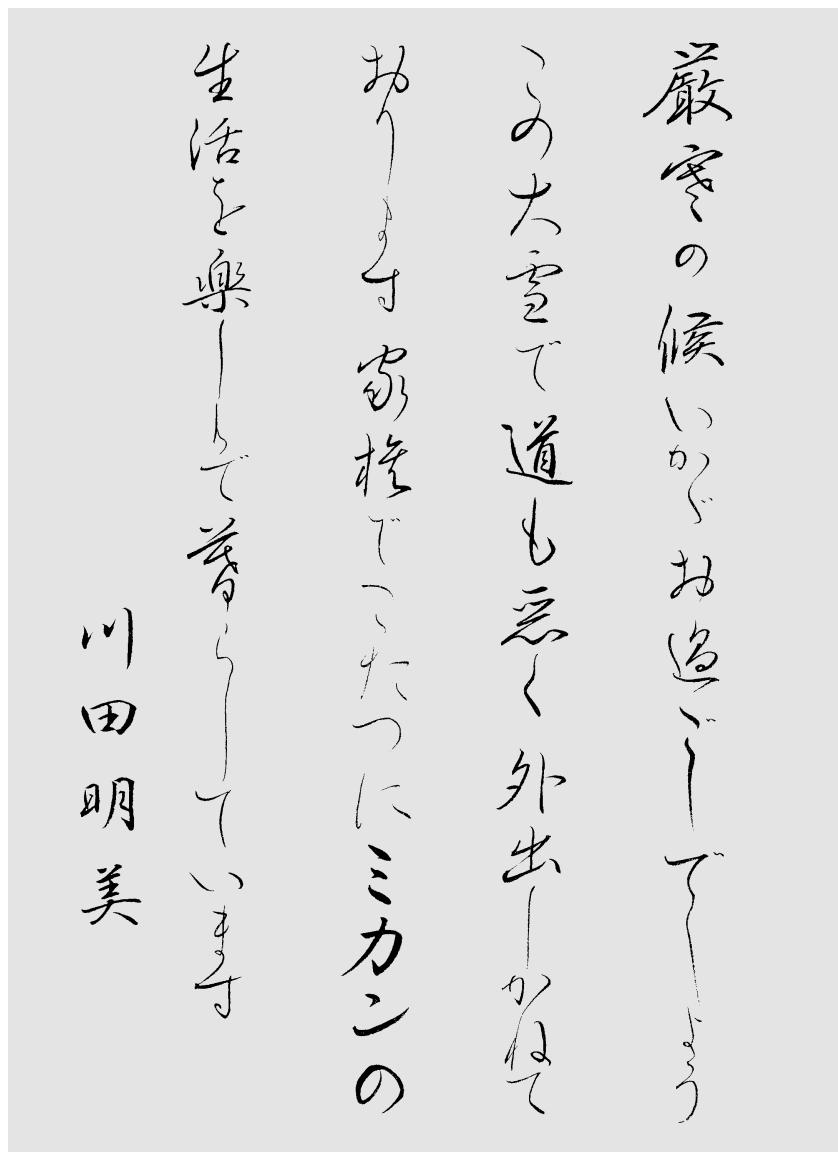
[出典] 星野立子

[句意] 紅梅がびっしりと蕾をつけているさまである。「りんりんとして」にまもなく開かんとする力がとらえられている。

新入から1級まで

浅井機山先生書

一般部毛筆細字課題



半紙 (334mm × 240mm)

おお 大 宮 春 兆 書

■ ■ ■
〔条幅・細字作品の出し方〕
新入から師範まで、どなたでも出書できます。
成績(天位5等)は、評価により毎月変わります。
書体変換、変体仮名の交換は自由です。

■ ■ ■
印で墨つぎしました。
(ご自分の氏名)



〔条幅解説〕創作への展開(角川書道字典より)

〔大意〕林につもつた
雪は消えて山は青みを
おびて静かに、窓さき
には春まだ浅く竹のひ
びきも寒げである。

新井清泉先生書

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

初出品の方へ
章振

林外雪聲はとも
春の聲も皆寂
寂しい。

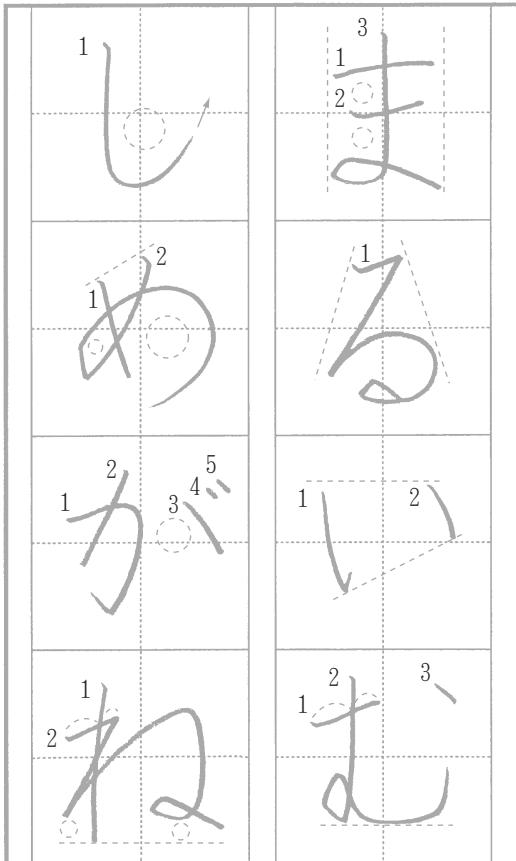
りんがいゆきえさんしょくしずかに
そうせんはるあさくちくせいさむし
前春淺竹聲靜
新井清泉先生書

一般部毛筆条幅課題



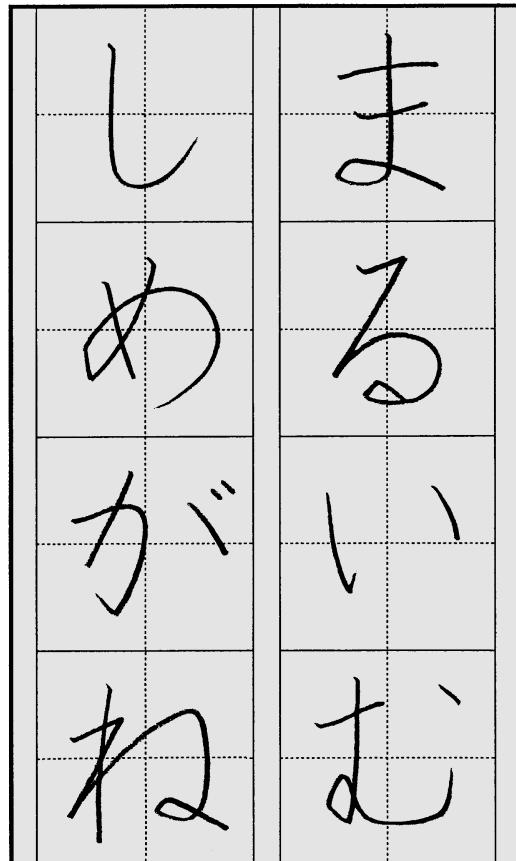
締切り 二月二十二日 (必着) 半切 (136cm × 35cm)

〈ようぐ〉自由 (黒色にかぎる)



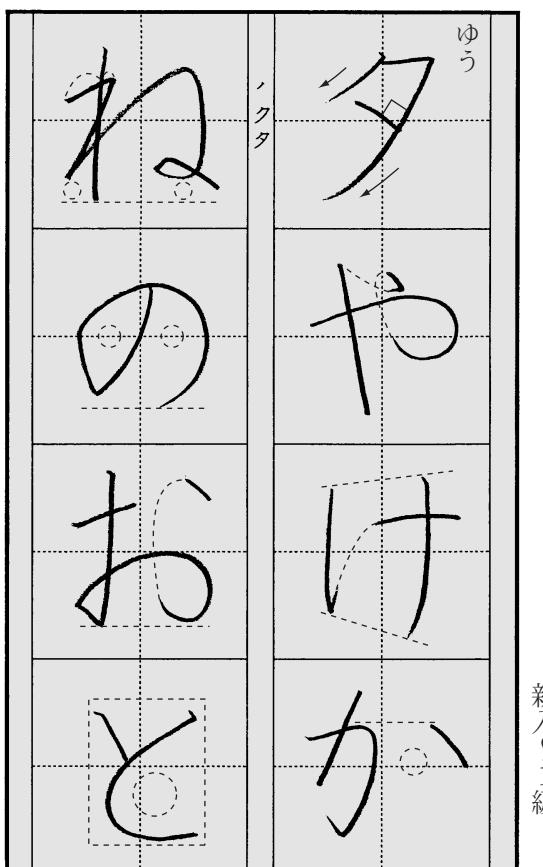
◆ひらがなトレーニング (なぞって書いてみよう)

- ★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よう年

小三年まで
三み
宅やけ
容よう
玉ぎょく
書



新入～1級

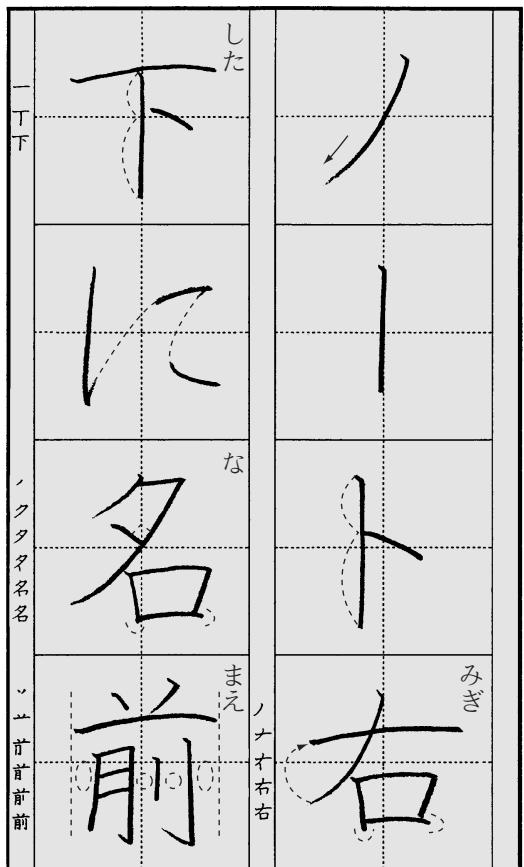


小一年

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

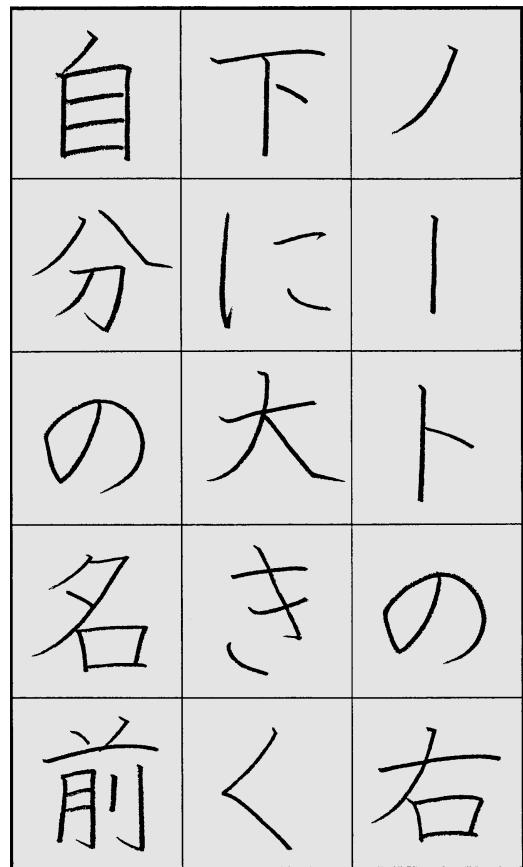
準初段以上

〈ようぐ〉自由 (黒色にかぎる)

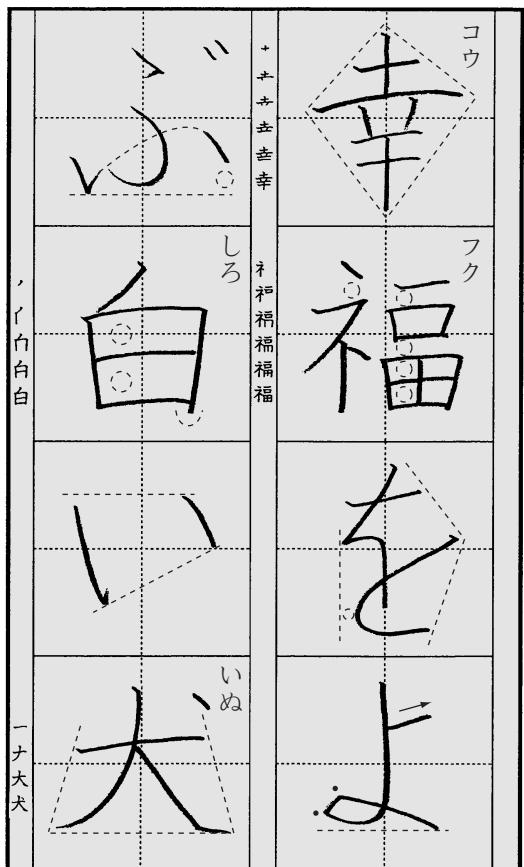


新入～1級

小二年

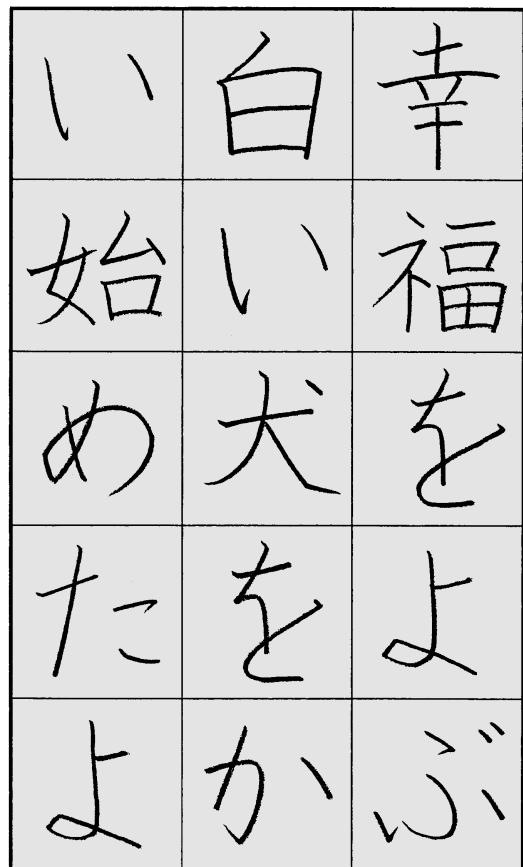


準初段以上



新入～1級

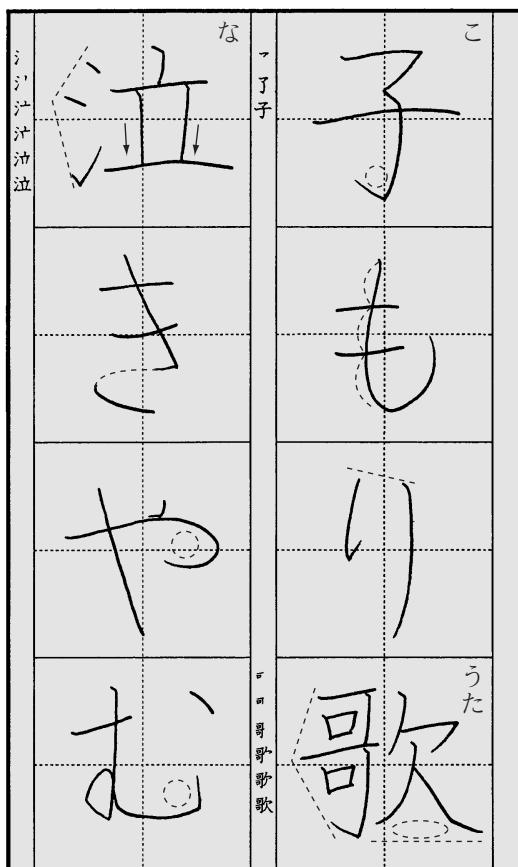
小三年



準初段以上

教育部硬筆課題

しめきり 2月22日(必着)



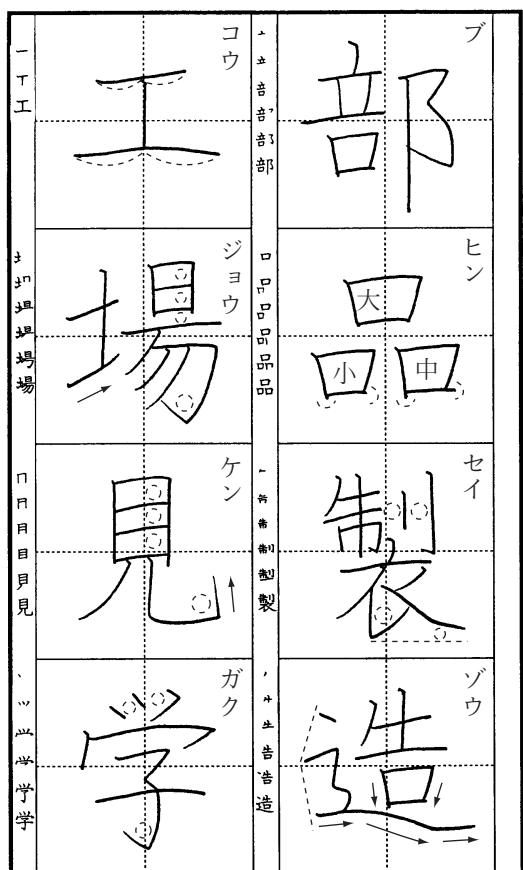
〈用具〉自由 (黒色に限る)

新入～1級



小四年

準初段以上



小四以上 尾 (お) 部 (ふ) 見 (み) 翠 (すい) 光 (こう) 書 (しょ)

解説 (よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

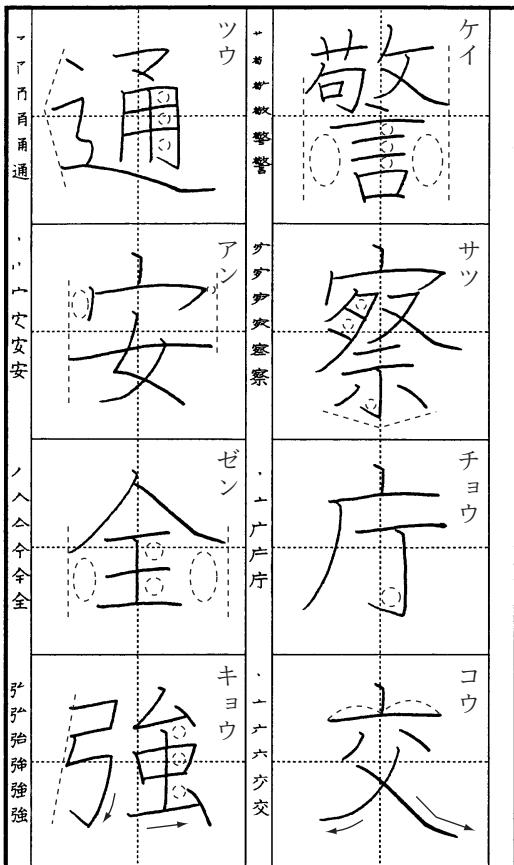


小五年

(全員)

教育部硬筆課題

しめきり 2月22日(必着)



〈ようぐ〉自由(黒色に限る)

化	通	敬
を	安	察
め	全	庁
ざ	の	は
す	強	交

(全員)

小六年

い	り	祖
懷	受	父
中	け	か
時	た	ら
計	古	讓

中二・三年 (行書)

◎お手本は、15マスはつけペン、8マスはデスクペンで書きました。

す	雪	空
ぐ	の	に
解	結	付
け	昌	い
た	は	た

中一年 (行書)

▼小三年以下の課題

はやし
林
せい
成
か
香
書

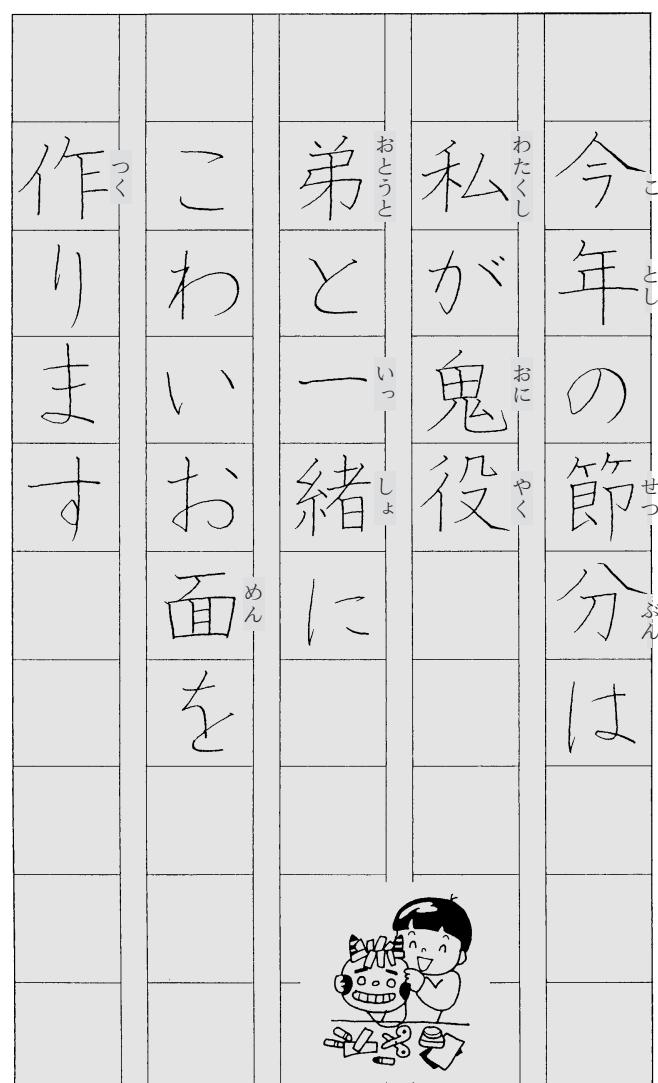


しめきり 2月22日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いててもよろしい。

▼小四年以上の課題

ふる
古
かわ
川
きょう
京
か
佳
書



◇作品の出し方

◎お手本はつけペン使用

- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 二、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 三、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 四、用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 五、成績は評価により毎月変わります。
- 六、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





